

日本事情Ⅱ

最終レポート

G11

ルラン

* 目次

1. テーマメモのまとめ

- * インタビュー相手の紹介・インタビュー相手に関する印象的なエピソード
- * その人は自分にとってなぜ魅力的なのか、どんな人か
- * グループディスカッションで出た質問やコメントへの答え

2. インタビューの内容

- * 自分が思ってる自分は？
- * 将来の夢は？
- * 家族
- * 長い髪形、いつから？
- * 好きなこと・嫌いなこと
- * 韓国についてどう思った？
- * 旅行とかの予定は？
- * 高校生の美咲は？
- * 韓国に来たら何やりたい？(とかなにたべたい？)
- * 彼氏は？
- * 理想の彼氏は？
- * 私と出会ってすぐの時と今とどう違う？
- * サークルで副会長をやるようになったきっかけ
- * 大学での友達
- * 好きなファッションスタイル
- * 昨日お酒飲みながらいろいろ話したこと
- * 血液型は何？—それについてなんか考えることとかある？(こういう人と会うとか合わないとか)

3. インタビューを終えて

4. この授業の感想

1. テーマメモのまとめ

*インタビュー相手の紹介・インタビュー相手に関する印象的なエピソード

私がインタビューしたいと思っている人は教育文化学部人間環境課程応用専修に所属している美咲ちゃんです。美咲ちゃんが副会長として活動しているコリアサークルの歓迎会の前の日に初めて会い、今は私のチューターをやってもらおうようになりました。それをきっかけにして仲良くなりました。

美咲ちゃんとは韓国人の留学生をサポートしてくれるコリアサークルで秋大の文化祭の時 販買したトップギーやヂヂミの材料を買いに行ったこと、私が住んでいる寮に招待して一緒に朝7時まで話し合ったことがあります。そして、一緒に5時間もレストランのドリンクバーで話し合ったり、寮でお好み焼きをつくってもらったりしました。

*その人は自分にとってなぜ魅力的なのか、どんな人か

美咲ちゃんは会うといつも笑顔で、元気いっぱいに見えて、友たちもたくさんいて、人気もあります。そして、髪も長く、スタイルも本当に女の子らしいかわいいスタイルで、自分に似合います。話し方もかわいい時は本当にかわいくて、友たちとは冗談や面白いことを話す時は面白くたくさん話します。

一方、自分の将来のことについての考えもしっかりしているようで、今学期には秘書検定の試験も一生懸命に勉強して受けたそうです。初めて会った時からずっと話し合うことが増えてきて、美咲ちゃんの考え方や話を聞いていると、実は一個下の人ですが、本当にびっくりするほど、しっかりしているのです。そういう点が十分魅力的だと思います。

まだ、美咲ちゃんについて全部分かることができなかつたので、インタビューしながらもっと細かく魅力を分かるようにして行きたいと思います。また、韓国人と日本人の特徴や考え方の違いを分かるようになる機会がたくさんありますので、一緒に話していると文化的違いまで感じるようになり、楽しいです。

*グループディスカッションで出た質問やコメントへの答え

授業中、グループの人にいろいろ美咲ちゃんのイメージについて話してもらいました。

私のテーマメモ1を読んで、まず、美咲ちゃんは「チューターをやってるのでしっかりしてる」「明るイメージ」「まじめなみたい」「女の子らしい」などの意見がありました。

大体合っていた部分でしたので、読んで考えてくれたグループの人にありがとうございます。また、アドバイスとしては、「自分と気が合うところ、または合わないところを書いたら良さそう」という意見も役に立ちました。インタビューのまとめにあの部分も書くつもりです。

2. インタビューの内容

*自分が思ってる自分は？

明るい。面白いことが好き。

外国が好きだし、海外から来た人と仲良くなりたい人。国籍は関係なくいろんな人の考え方を知りたい。異文化に触れることにとっても面白い。

また、老人が好き。子供はただいるだけで誰かに愛してもらえるけど、老人はとても寂しいと思うから、私は老人と仲良くしたいと思う。ボランティア活動を月2でしている。老人ホームで認知病の方と話す。

一人で外国を歩いてみたい。私はとても寂しがり屋です。自宅生だから生活面や精神面でも自立できないでいる。あえて、自分を孤独な状態において強くなりたい。

*将来の夢は？

今はたくさんあって1つに選べてない。

アナウンサーか公務員になりたい。アナウンサーはいろいろな場所に行くことができるし、何しろ影

響があるから、自分の口から社会の情報を発信できるのはやりがいがあると思う。
公務員は両親を安心させるのに一番適していると思うし、地域に密着して仕事をするのは楽しいと思うから。

*私一私の将来の夢は、できるなら日本で就職して、一生日本と韓国の間を結ぶ仕事をしたいです。でも、日本と韓国に限らず、他の外国語にも興味があって、いろいろな文化と触れることはいいと思います。

*家族

父、母、妹が二人います。

父は豊職人、母は銀行員です。すべての家事は自営業している父がやっています。彼は料理、弁当作り、掃除、洗濯、すべてをやります。

ちなみに私の母の妹、つまり私のおばさんはロサンゼルスオリンピックで銅メダルをとったバレー選手で、尊敬しています。

*私一私は、父、母、弟、4人家族です。うちの両親はマグロの料理専門店を営んでいます。父は10年前から日本語に興味がありまして、一人で塾を通いながら、日本語を習い、今は会話ができるぐらいです。綿所は旅行好きの父に似ているかもしれません。今まで、父は日本に30回も旅行したことがあります。母は私にとって、一番仲良い友達でもあります。弟は今、軍隊に行っています。今年7月に軍隊の義務が終わるそうです。

*長い髪形、いつから？

高校三年生の夏からずっと伸ばしています。

髪が長い方が似合うと言われるし、成人式で髪をアレンジして楽しみたいから

*好きなことー嫌いなこと

大好きな友人とお酒を飲むことー嘘つき

*韓国についてどう思った？

私の韓国に対する印象はやはり初めて出会ったオッパ(韓国で女の子が年上の男の人を呼ぶ時の呼び方)たちの印象に影響を受けていると思う。オッパたちと出会う前は、「とてもまじめで勉強熱心でロマンチスト、そしてとても優しい」イメージだった。韓国人に会ってみてイメージ通りの部分もいっぱいあった。さらに実感したのが「面倒見がよい。はっきり言いたいことを言い合って、友情を深める。気前がいい。あとダンスが上手。」ということ。

日本人と韓国人の友達との付き合い方の違いには驚いた。日本人は思っていることを相手にすべて伝える事は少ない。私の場合もこの傾向がある。喧嘩はしたくない。(たまに喧嘩はします。)

だいたい嫌な事があっても少しの間我慢すること、相手との付き合い方を変えること、自分の考えを変えることでもっと相手を好きになって、仲良くなっていく感じ。

自分の気持ちを表現するのが苦手な私にとって自分を変えていく方が楽だったのだと思う。

韓国の友達はとてもストレートでした。感情表現が豊かで、素直な人たちでした。エネルギーに満ち溢れています。私が傷つくと自分のことのように心配してくれるし、怒ってくれるし。情熱的で私はよい刺激をもらいました。もう少し私も素直になろうって思えます。素直に気持ちを話し合うと誤解も生まれません。こーゆう付き合い方もステキだなあ、って思いました。

*旅行とかの予定は？

韓国に行きます。ソウルでショッピングをしたり、コリアサークルで大学2年生のときに会ったヒョンホオッパに会いたいと思う。1年生のとき外国人と友達になりたかった私は大学で仲良くなった友達のススメでコリアサークルに入りました。初めてアジアの友達が出来ました。そこでヒョンホオッパとグニョンさんとドゥファンオッパとヨンニョンオッパと仲良くしてもらいました。私たちは年齢も文化も違うけど気が合いました。というより、とても可愛がってもらいました。今でも時々メールのやり取りをしています。半年間しか一緒に遊んだりできませんでしたが、ずっと友達でいたいと思った。ドゥファンさんが韓国に帰るとき見送りに行きました。最後まで笑い話をしていた。オッパは「美咲泣いてヨ」といったけどずっと面白い話をしていたから、期待に応えられませんでした。それくらい仲良くなっていました。そんなオッパたちに会いたいと思います。

そして韓国に行っている刺激をもらいたいと思います。海外旅行はこれが初めてなので楽しみです。旅行のプランを韓国の友達と考えるのもとても楽しみです。

* 高校生の美咲は？

友達をたくさん作った。友達を作るのは得意だと思います。

このときも外国人に対する興味は強くて、留学生がくると必ず友達になりにいきました。初めに友達になったのはドイツ人で日本語が全然できなかったから、片言の英語で会話していました。どんどん仲良くなって、恋愛相談や友達付き合いなどいろいろな話をできたことがとても嬉しかった。高校を卒業してからたまにメールをしていたら、大学1年生のときにドイツから日本に遊びにきてくれました。国が違っても言葉があまり通じなくても仲良くなれる！と思わせてくれました

* 韓国に来たら何やりたい？(とかなにたべたい？)

焼肉とキムチ。韓国料理ならいろいろ試してみたい。いままで聞いた事のない料理も食べてみたい

* 彼氏は？

いない。。もう1年以上いないよ。ステキな人が現れたら、頑張りたいと思う。ステキな人以外恋人はいらないので合コンに誘われても行きません。

* 理想の彼氏は？

賢くて、背が高くて、謙虚で、趣味が多い。物知な人には惹かれますね。趣味が多いと会話が飽きないと思うから。

* 私:理想の彼氏については、美咲ちゃんと私はほぼ一致してました。(笑)

* 私と出会ってすぐの時と今とどう違う？

綺麗な人だなあ、って思った。ファッションセンスが日本人に似ている。友達になりたい！！って思った。あと会ってすぐにお酒好きとわかった。

* 私:私は美咲ちゃんに始めてあったとき、本当に可愛くて、人を楽にしてくれる人だなと思いました。二人ともお酒好きだということを早く発見してしまいました。それで、二人ともすごく仲良くなれました。

* サークルで副会長をやるようになったきっかけ

1番最初にコリアサークルに入った人だから選ばれたんだと思う。話し合いはなくてやっしがいつのまにか決めていた。

* 大学での友達

大学の友達は少ない方。笑いあえる友達はあるけど、尊敬できる人が少ない。

* 好きなファッションスタイル

ワンピースがすき。女の子らしい服が好き。ズボンをめったにはかない。

* 昨日のお酒飲みながらいろいろ話したことについてどう思った？

韓国の人は自営業の家庭が多くてビックリした。日本では本当に珍しい。勇気と経営能力が素晴らしい。日本では韓国人は商売が上手いといわれている。日本で成功している韓国人は多い。蘭ちゃんの両親に会ったら、経営の話を知りたい。

* 血液型は何？—それについてなんか考えることとかある？(こういう人と会うとか合わないとか)

A型。A型はまじめで神経質といわれているけど、私の性格は真逆。よく自己主張が強いといわれるB型と思われる。苦手な血液型の人はいないけど、親友にはA型が多い。

* 私:私はAB型です。でも、人に「私何型みたい？」って聞くと、皆、B型？→O型？→A型？→まさかAB型の？！という流れがほとんどです。私も、周りになんだかA型の友達がたくさんいる気がします。

3. インタビューを終えて

私がインタビューをする人を決めた時は、まだ、美咲ちゃんと出会ってすぐの時でしたので、どこから質問をし、どうやって話し合ったらいいのかぜんぜん思い浮かばなかったです。何度かのテーマメモを書き直して、一次のインタビューを行いました。私の質問や話が足りなくて、また、待ち合わせをして、今度は飲みながら話そうという話で、2次インタビューは居酒屋で行いました。私も美咲ちゃんも両方、お酒好きでしたが、最近あまりあえませんでしたので、久々の飲みを楽しみながら、いろいろな話し合いが進められました。

最初、テーマメモのことについて、グループの人にコメントしてもらった時、美咲ちゃんのイメージについて話してもらったことがあります。「チューターをやってるのでしっかりしてる」「明るイメージ」「まじめなみたい」「女の子らしい」などの意見をもらった私は、そういうことを中心にして質問してみたいなと思い、インタビューをしました。

まず、自分が思ってる自分という質問の答えの中で、グループの人がイメージした通りに明るいという答えは確実でした。また、美咲ちゃんのお父さんは豊職人ということを知りましたので、本当にかっこいい仕事だと思いました。美咲ちゃんの自立的な考え方と関係があるかもしれないと思いました。

旅行が好きというところも私とすごく合っていました。私も、とにかくどこでも旅に出て、いろいろなことに振りいたいという考えでいっぱいでした。今回、美咲ちゃんが初めての海外旅行を計画しているそうで、私の方からもできるだけ手伝ってあげて、韓国という国をもっと知ってほしいと思いました。

そして、高校生の時から外国人の友達が付き合えたことにもう一度びっくりしました。うらやましいと思いました。

韓国って言うと、やっぱり、焼肉とキムチですかね。もっと美味しくて、いろいろな料理があります。

それで、美咲ちゃんにいろいろ教えてあげたいです。

また、コメントしてもらった時、美咲ちゃんは、女の子らしいと思うという意見について、インタビューをしてみたらさすがそうだったと思いました。長い髪形や、ワンピースを好きというところまで、本当にかわいい人だなと思いました。

インタビューの以外にも結構いっぱい話してもらい、日本人と韓国人という違いより、人と人として、ちゃんと本音が話できて、すごく嬉しかったです。

5. この授業の感想

始めてこの授業に参加した時、正直、すこし驚きました。思ったより結構、大人数の学生がいて、しかも、日本人もいっぱいいたんです。初めての留學生活で、日本に来て、一週間も経ってなかった最初の授業から、もう4ヶ月になりました。私が属しているグループ11のゆうこちゃん、あやなちゃん、千葉君、ジへちゃん。皆、仲良くできて、ちゃんとコメントしてくれてありがとうございました。日本人の3人は、皆1年生なのに、私とジへちゃんより、もっとしっかりしていて、コメントやアドバイスも本当に役に立ちました。反面、私の方からはあまり役に立てなくてごめんなさい。

この授業の目標が、他人の文化を知るための授業だということに興味深かったです。インタビューの提出が遅れてしまったりもしましたが、結果的に、インタビュー相手の人とももっと仲良くできたので、本当に留學生活の中で思い出になる授業になったと思っています。

また、瀬川先生の易しい説明が役に立ちました。文化的の違いということについてももう一度真剣に考えるようになった授業でした。ありがとうございました。

最終レポート

目次

1. インタビュー
2. インタビュー相手の決定と理由
3. インタビューの計画
4. インタビューの内容
5. インタビューから考えられるユギョンちゃんのイメージ
6. 感想
7. 授業について

顔と心が満月のようなユギョン

1. インタビュー

私は誰かをインタビューしたのが初めてで、インタビューした友達について今まで深く考えたことがなくて、またとても親しい友達でインタビューするのが大変かもしれないと思ってますが、今同じ日本で友達は九州で留学していて、お互いに大変なことがあるので、真剣に話し合うことができました。こんなに真剣に話したのは久しぶりで本当に感銘深かったです。インタビューしてその人についてもっと知ることになって、その友達も少しでも慰安になったと思っていますので、インタビューをすることになってうれしいと思います。

2. インタビュー相手の決定と理由

私には多くの大切な人々がいます。もちろん一番大切な存在は家族でしょう。その後が友だちなんですけど、友だちの中で一番信じていて、頼ることができて、いつも私の側でいてくれたジョン・ユギョンと言う友だちがいます。ユギョンは今日本

の九州の熊本で留学しています。私が一番大変なときや泣きたい日に家族には心配かけたくないからいつもユギョンと一緒にいました。私の側で何の話をしてくれなくてもただ側でいてくれるだけでも役に立ちました。中学生の時にも親しい友達がたくさんいましたが、頼れるし、信じられる人はいませんでした。そして、ユギョンと親しくなっても、なんか壁があるかもしれないと思いましたが、ユギョンは初めから壁がありませんでした。性格も同じだし、大変な時、いつも一緒にいましたからもっと切実な間柄になりました。活発な性格がよかったし、わたしがミスをしたら、すぐ指摘してくれました。こんなにわたしに指摘してくれた人は友達としては始めてでした。初めは気持ち悪かったのですが、だんだんそんな姿が良くなりました。そんな友達なら一生を一緒にしたいだと思いました。ユギョンは私にとって友達と言うより時には先生みたいだったし、お母さんみたいだったし、お姉さんみたいだったし、時々にはこどもみたいに見えました。それだけに私がユギョンちゃんを信じているし、ユギョンちゃんが信頼をあげたからですね。私には一期一会のような宝のような人です。

3. インタビューの計画

ユギョンさんと会う機会がなくて、nate on というインターネットサイトでインタビューすることにしました。ユギョンも学校に通っていますので、夜にパソコン上で会って音声対話をしながら、いろんなことを聞きながらインタビューすることにしました。

4. インタビューの内容

4-1. 日本に来てから、一番大変だったことは？

もちろん、家族と友達と彼と離れて一人で暮らすのが初めだったのですべてのことが大変だった。私のそばにいてくれたみんなが会いたくて会いたくていつも大変。そして、日本語を全然知らないから言葉も通じないし、授業も辞書があるのはあるけど、探すのも大変だし。すべての生活が大変。

4-2. 日本人の友達とは仲良くしているか。

初めはやっぱり私にとっては日本人は外国人なので、先に近寄ることは難しかった。言葉も通じなくて、日本人にも私は外国人なので話す機会があんまりなかった。でも、時間が過ぎればすぎるほど、だんだん日本人と会う機会が多くなって、歓迎会で多くの日本人と友達になって、これから一年間一緒にしてくれる、日本の生活を手伝ってくれるチューターがいて、もっと日本の友達と仲良くすることになった。

4-3. 日本の食べ物は大丈夫？

日本の食べ物はほとんど油っぽい飲食で、私は普通の韓国人と同じで、辛いものが大好きで、日本で食べ物を買って食べるより韓国のお母さんにもらって食べている。学校に行くときも学生食堂で食べなくて、自分でお母さんにもらったおかずで弁当を作って持って行ってたべている。

4-4. 学校が終わったら、主に何をやる？

日本に来たばかりにはしければならないことや買わなければならないがたくさんあって時間が早く過ぎたが、今は大体慣れて、寮で主に日本語の勉強をしている。

4-5. 日本語の勉強はよくしている？

当然だろう。韓国でちょっとでも勉強してきたらよかったのに、日本に行ったらいいと思って、自然に上手になるとおもって、全然勉強をしないできたから今、授業をとるのも大変だから寮に戻ったら、毎日漢字とか単語を勉強している。また、中間試験があって、勉強をしなければならない。そのようにしても少しずつは伸びていて、これからもっと頑張って勉強をするつもり。

4-6. 韓国に一番行きたい時は？

毎日行きたいと思う。今でも行きたい。毎日お母さんとお父さんと電話するとき、会いたくてたまらない。友達とメールを取り交わすときも友達に会いたくてたまらない。

4-7. 彼氏とは仲良くしている？

日本に行ったらほぼ一ヶ月間は連絡が出来なくて心細かったが今は、電話とか手紙で連絡ができて、よく連絡している。日本に来たばかりには彼のことを考える時間があんまりなかったが、今はちょっと慣れてからいつも彼のことを考えている。はたして1年間心が変わらないだろうか、不安な一日だが、彼に信じてあげてて言われたからこれから彼のことを信じて暮らそうと思う。

4-8. 自分にとって一番忘れられない思い出は？

家族と一緒に居られた瞬間が全部忘れない思い出で、友達とか彼氏と一緒にしたすべてのことが忘れない思い出。とりわけあなた（崔ジへ）と日本に留学来る前に一緒にソウルに行ったこと。

電車の席がなくて、一緒に立ち席でして、立ってソウルまで行って、「ミョンドン」で買い物をした後に「ソウルタワー」に行って、ケーブルカーに乗って上がって、「ソウルタワーの名物になった錠を鉄条網にかけて、写真もたくさん撮って、これからの私たちの友情を約束した後に「ガンーナむ」に行って、お酒を飲みながら夜更かしをした後に次の日にバスに乗って家に帰ったこと。

「ソウルタワー」は私たちがずっと前から行こうとしたが、時間もないし、ソウルまで行くのが面倒くさくてソウルに行くのを後回した後、二人がみんな日本に行くことになってから時間を出して行って、短い時間だったが、死ぬまで絶対忘れられない思い出だったと思う。

何が一番したい？ せっかく日本に留学来たから、まずは日本語の勉強を頑張ってして、日本のいろんなところに旅行を行きたい。勉強をするのももちろん大事だが、旅行をするのもぶんかとか日本について分かれるから一応東京を中心に旅行をしたい。東京は日本の中心だから、日本にきたのに、東京に行かないのは変だから。その後、大阪とか広島とか日本で有名な地域に行きたい。

冬休みに友達と一緒に東京に行くことにして、来年の夏休みに他のところへ旅行に行くつもり。

4-9. 人生で一番大変だったときは？

ふん。やっぱり高校の3年生のときだと思う。高校の時には友達とたくさん思い出を作って、いつも一緒にいたから友達みんなが家族のようだった。でも、高校の3年生のときは大学の進学を決めなければならなかったの、たとえ友達に助言をもらっても自分がそう思わないから心配だった。成績もよくないし、どんな大学で、どんな専攻をしたらいいのか、私は何をするのが好きなのか、私が一番よく出来るのはどんなことかを分からなかったの、どうしよう方法がなかった。高校生のみんなも私のように感じると思う。

何を専攻するかにとって、未来が変わるから。両親に聞いてみてもやっぱり私、自分なりの考えをした後に決めてねって言われるから。誰でも私の人生を代わりに生きてくれないから。

今、あなたが通っているハンバット大学を第1志望でしたが、不合格してから本当にがっかりし、大学を辞めるかなと思ったの。でも、大学を辞めても別にすることがないから。そのとき本当に死にたいほどつらかったの。今、私が通っているバイザイ大学は自分が望んで入ったことはない。でも、私は結局バイザイ大学で決めてから自分の決定に後悔はない。もし私があなたと同じハンバット大学を通ったら、今どこで、何をしているかっと思ったことがあるの。どこの大学でも私が熱心にしたらいいだろう。そう思いながら生きている。

4-10. 私に言いたいことは？

今更のようにあなたに何かを言うなんて変だろうね。まずはあなたと私は同じ日本だとしても私は九州で、あなたは秋田だから1年間は会えない。今まではずっといつでも連絡をすればすぐ会えたでしょ。もちろん携帯電話があるから連絡は出来るが、会えないから。そうだとしてもあなたは日本語も私より上手だし、多くの友達もいるし、性格が明るいから日本でもよく生活すると思うから心配ない。1年だとしたらもちろん長い期間だと言えるでしょ。でも、後に韓国に戻って、後悔しないようにこの1年を楽しみに生きてほしいの。会えなくても、メールもあるし、携帯電話もあるからいつでも連絡ができる。だから、韓国でしたのようになんか大変なことや嬉しいことや悲しいことがあったら是非私に言ってくれてほしい。とりわけ健康のことを一番先に考えてね。外国で体の具合が悪くなったら、もっと身体的に、また心理的に大変になるから。分かるね。私はあなたを信じているからなんの心配をしない。しなくてもいいよね。ありがとう、私の友達になってくれて。これからも相変わらず今までのように親しくしてね。

5. インタビューから考えられるユギョンちゃんのイメージ

同じグループのみんなに、私のテーマメモを見て、直接に見たことはありませんが、だいたい私と同じ感じがして、なんでもはっきり直接に話してくれるからそれが珍しいだと言われました。やっぱり、ほとんどの日本人は人がいやかるに足ることと言わないから、珍しいと考えるかもしれないです。多くの韓国人は他人がなんかを間違えた時、ミスをした時、他人に失望をした時、隠そうとしないで、かえって直接に言って、もっと間柄が悪くなることを防止します。なんが誤解があったらそれを解けないとそのまま二人の関係がだんだん悪くなるのでそのほうが韓国人にとっては大事なことです。それは文化違いだと思います。

6. 感想

インタビューをしながら今ユギョンさんがどんな生活をしているか、留学するのが大変なのか、ユギョンも誰も言えなかったことを私に言いながらちょっとだけでも心が楽になったと言いました。

ふたりとも留学しているので、今どんなに大変なのか分かっていますのでもっと切実に感じられます。それでも私は日本語をちょっとでも勉強をして分かっていますが、ユギョンちゃんは全然知らない状態で留学を言ったのでとても大変だということは何となく分かります。

もう韓国に戻る日が 8 ヶ月ぐらい残っています。残っている間後悔しないように日本で居られる時間を大切にしようとお互いに言いました。韓国に戻ったら以前のようによく会えるのを今も期待しています。真剣に話し合うことが出来てとてもうれしかったです。

これからも友達の話に耳を傾けるつもりです。私のそばにいてくれる友達をもっと大切にします。

7. 授業について

雄一に日本人と一緒に取っている授業です。それだけでもとても楽しい授業だと思っています。私のレポートをみんなに読まれて、もし間違ったところがあったら、教えてくれますし、また知らない人なのですが、グループのみんなのインタビュー相手の話がとても面白かったです。私も改めて友達の大切さを感じたり、インタビューをきっかけでもっと親しくなったような感じがします。お互いに留学をしていて、大変かもしれないことを分かっているので、お互いに慰労になりました。レポートでインタビューすることになりましたが、いつも気になっていたことで、真剣に話すことができ、本当によかったです。私にとってはこの授業は役に立てて、友達をもう一度考えることになって、本当にいい授業だと思います。

目次

1. 理由
2. インタビュー
3. 結論・感想
4. クラスについて

インタビュー相手・・・村木和正

1. 弓道部のエースで、次期キャプテン候補。今は副務を務めているヒトです。教育文化学部に所属していて、将来世界史の先生になりたいと言っていました。類を見ないJK好き！しかし、時々鬱になります。他の部員からは「キムさん」の愛称で呼ばれています。近頃、学科のコトで忙しいらしく、部活との両立が大変そうです。的中が悪い日の機嫌は最悪と言っても過言ではないほど。

彼の魅力は、自分の信念を持ち、他人に影響されたりしないところです。

彼とは同じメンバーとして先輩達と共に戦ったコトがありますが、三年生が引退した今、主力としての自覚を彼は誰よりも持っていると思っています。

彼の他に副務は二人いるのですが、彼らは村木和正君のことを頼っています。

彼は将来、世界史の教師になりたいそうです。彼は歴史が好きらしく、私が、なぜ日本史ではなく世界史なのか聞いたところ、世界のほうがスケールがデカイからだそうです。世界史が好きな人が増えればいいと願っているみたいでした。(私はニガテですが・・・)

2-1. まあ、そんな訳で私は彼にいくつか質問をしました。

まず一つ目ですが、同じ弓道部部員として「あなたにとって弓道とは何か？あなたの考える弓道とは？」という質問をしました。すると彼は熱く語ってくれました。

『弓道というスポーツは、大体の人たちのイメージとして、「集中力」「精神力が鍛えられそう」「袴姿がかっこいい」があると思います。確かにそうかもしれません。私は高校から弓道を始めたわけですが、きっかけはやはり袴姿への憧れでした。柔道着や剣道着とは異なったあのかっこよさが、私にはとても魅力的なものです。

高校で三年間弓道をやってきて、私はそんなに上手くなった訳ではありません。みんなが思う弓道のイメージは「的当て」といったものかも知れませんが、「弓道」と「的当て」は似て非なるまったく違うものだと思います。弓道が上手になるということは、「的中」だけでなく体のさばき方、言わば「型」が何故にきれいに出来るのかという二つの視点があ

と思います。大まかに分けてですが(笑)。先に高校三年間であまり上手くなれなかったと言いましたが、それは的中面のコトです。やはりいくら型がきれいでも、当たらなければ意味がありません。私は高的中と型のきれいさが揃った選手になりたいと思い、大学でも弓道部に入部しました。現在、毎日の練習の的中率が60%を超えるぐらいに成長するコトが出来ました。まだ弓道を始めて四年目の未熟者ですが、こんな自分でもこれだけは言うコトが出来ると思います。それは、弓道とは、これだけ努力したからこの分だけ上手くなるという他のスポーツとは違う点です。必ず努力すれば上手になるとも限らないですし、努力しまければ上手くなるコトは不可能です。そんな少し矛盾を含んだ弓道が私はとても大好きです。あきらめずに、いつかきっと上手になると信じて努力するコトが、弓道における一番のミソだと思います。

みんなのイメージする「精神力が鍛えられそう」というのは、毎日の稽古だけから連想されがちですが、本当は、見えない努力をし続けるコトが出来た強い心こそが「精神力がきたえられる」という本当の意味だと私は思います。』ということです。

ここで、彼の愛する弓道について多少なり説明したいと思います。

弓道は、和弓を用いて矢を射て、的に中(あ)てる一連の所作を通して心身の鍛錬をする日本の武道です。古くから弓術として戦術、武芸として発展し、現在ではスポーツ、健康体育の面も持ち合わせています。流派について、現在でも小笠原流、日置流、本多流、大和流など様々な流派が存在し活動しているものの、大多数の弓道家は流派には所属せず、全日本弓道連盟の定めた射法(射法八節)に従っています。流派の人々も全日本弓道連盟に所属し審査を受けている場合もあり、連盟と多くの流派組織は対立しているわけではありません。

弓道は『弓と禅』(オイゲン・ヘリゲル著)などの著作で精神性を重んじる面が取り上げられたことなどから外国人の関心を惹き、オリンピック種目でないにもかかわらず欧米各国中心に競技団体が設立され愛好されています。ただ最も盛んなドイツでもドイツ弓道連盟登録者数は約1,100人、他国連盟は多くても数百人です。2006年5月2日、弓道の普及と振興等を図るため国際弓道連盟が創設されました。大学弓道部による競技は一般に学生弓道、大学弓道などとよばれます。全日本学生弓道連盟(全学連)は全日本弓道連盟の傘下には属さない独立の組織です。全学連および傘下の各地区連盟により各種試合が行われていますが、競技形式・規則は全日本弓道連盟と異なります。

弓道で使用する道具をいくつか紹介します。和弓:長さ221cm(多少の長短がある)、握りの位置は下から三分の一のあたり。本来は竹と木を鰐(にべ。膠の一種)で張り合わせた竹弓だが、現在では合成接着剤で張り合わせた竹弓や、安価な繊維強化プラスチック製のものが普及しています。矢:竹またはジュラルミンまたはカーボン製の筈(の。矢柄とも呼ばれる)に金属製の板付(矢尻)、矢をつがえる筈、三枚の羽をつけたもの。甲矢(はや)と乙矢(おとや)の2本1組。弓を引く際に右手に装着する鹿の革でできた手袋の一種。通す指の本数に応じて三ツ弾、四ツ弾、諸弾が存在する。現在では親指に木製の角(帽

子という)が入っている堅帽子のものが主流。昔は、和帽子(柔帽子)という角の入っていないものが本流であった(角入りでは、馬上で弓を引いたり、刀を握ることが出来ないので都合が悪い。そもそも角が入った理由は、三十三間堂での通し矢で強弓を数多く引けるように改良されたため)。弦:麻または合成繊維(ケプラーやアラミドなど)をよりあわせたものの表面に薬煉(「くすね」と読む。松脂を油を加えて煮たもの)を塗って補強してあります。合成繊維製のものでは薬煉を塗っていないものもあります。的:星的、霞的、三色的、遠的用色的、射割りなどがあります。大きさは直径1mのものから直径8cmのものまであります。巻藁:藁をたばねたもの。稽古用的。弓道場:弓道は安全上の理由から原則として専用道場で行うのが好ましい。現在日本国内には公設・私設合わせて1,400箇所以上の弓道場があり、体育館等に安全を配慮した上で仮設道場を造る場合もあります。弓道場は競技の違いから近的場、遠的場があり、同時に的前に立てる人数(置ける的の数)はその道場の規模によって1人~15人以上と大きく幅があります。近的射場:射位(射手)からの的までの距離が28m、通常は直径が一尺二寸(36cm)の的を置きます。的場には矢が痛まないよう土が斜めに盛ってあり、これを安土(あづち)といいます。中学校~大学、公設道場から私設道場まで殆どの弓道場がこれで、通常の稽古は近的道場で行います。敷地面積が比較的取りやすいため、個人宅に1人~2人立ちの簡易道場を造る弓道家も少なくない。遠的射場:一般的には射位からの的までの距離が60mあり、通常は直径1mの的を置きます。広い敷地が必要なため、専用遠的場の設置数は少ない。的場に土盛りの安土はありません。

弓道とアーチェリーを比較すると、アーチェリー(洋弓)はかつて全日本弓道連盟が「洋弓部」として管轄し、1958年には国際アーチェリー連盟(FITA)に加盟しました。しかし国内のアーチェリー団体からの要請や、1967年の第24回世界選手権に出場した和弓選手の惨敗などを受けて、1968年にFITA加盟権を全日本アーチェリー連盟に移譲し、洋弓への関与を終えました。技術的には、アーチェリーは矢を(身体から見て)弓の左に番え、弦は右手人差し指、中指、薬指で引く「地中海式」をとるのに対し、弓道は矢を弓の右に番え、取り掛けは右手親指根で弦を引っ掛けるようにして保持する「蒙古式(モンゴル式)」をとります。また日本のアーチェリーでは弓道の射法八節を取り入れています。道具では、弓道もアーチェリーも本質的には同じですが、アーチェリーの弓には(競技種目にもよるが)多数の補助具(スタビライザー、サイト(照準器)、クリッカーなど)を付けるのに対し、和弓は基本的に弓と弦だけです。アーチェリーでは左右両手用の弓があるが、和弓では基本的に左手用の弓しかありません(弓道では左手に弓を持ち、右手で弦を引く)。

現在では全日本弓道連盟が中心になり、各流派の特徴を取り入れるなど現代社会のスポーツ性を考慮した射法が主流となって、全国的に射法が平均化され地域差が少なくなっている現状があります。ただし、全日本弓道連盟の「統一見解による射法」は非常に曖昧なもので、指導者によって技術論に差異が認められるなど全日本剣道連盟による「日本剣道形」(「大日本帝国剣道形」の名称変更)の様ないわゆる「統一射法」は存在せず、全日本

弓道連盟が公式に定めているのは「射法八節（後述）」「礼法」「間合い」のみとなっています。同じ射距離で同じ弓・矢・カケを用いているにも関わらず、極論全く正反対の技術であっても現在のところは通用しています。このような技術論に差異が認められる所以は日本の弓術独特の進化過程に起因します。

古来から続く弓道、弓術流派は自身の発展の土台を重要視、または流祖の教え、古流の保存など、それぞれの目的に合わせ一貫した技術・教えにより古来からの伝統を受け継いでいます。弓道連盟に属して活動している流派・団体も多いが、弓道連盟とは一切関与せずに活動を行っている流派・団体も存在します。

彼はこのような弓道を心から愛しているのです。

2-2. 次に、話がガラッと変わりますが、類を見ないJK好きである彼に「あなたにとってJKとは？また、制服のコトについて」の質問をしました。

『大学に入学してからもう一年近く経ちます。大学生活にも慣れ、毎日楽しく過ごせるのはいいのですが、私服を毎日選んでいかなければならないという点が非常に面倒です。

そんな時、つい一年前まで高校生だった私は、「制服」のありがたさを感じる時があります。毎日制服で生活できるというのは非常に楽です。その点だけでも制服のありがたさを感じるのですが、もう一つありがたさを感じる時があります。それは、女子高生の制服姿が新鮮に見えるということです。私が高校生の時は、もちろん周りのみんなが制服姿だった訳ですから、見慣れた光景でした。ですが大学生となった今、制服姿は限られた時間でしか見ることが出来ません。その限られた時間でしか見ることのできない女子高生の制服姿は、私にとってとても新鮮で初々しいものを感じられます。子どもと大人の間である高校生の頃の色々な思い出は、高校の制服を見る度に必ず思い出せるものだと思います。

最後に言いたいコトがあります！JKは人生で一番輝いている時だと思います。JKは青春の甘酸っぱい思い出を蘇らせてくれる人たちです。』だそうです。

あと、弓道をしているJKが一番イイそうで、袴と制服のギャップがたまらないそうです。また、彼はJKの妹が欲しいそうです・・・。

3. 私が彼を魅力的だと感じ、インタビュー相手に選んだ理由の根源とは、部活のエースである彼への尊敬と憧れからだと思います。

彼は、超えたい存在であり、弓道の道標です。だからこそ、負けず嫌いな私は、彼について知ることによって彼に近づけるのではないかと思いました。

冬期休業中だった部活が再開された今日この頃、一歩でも彼に近づけるように頑張っていきたいと思います。

4. 明るい雰囲気、周りの方々も大変フレンドリーに接してくださりました。留学生の方と、いろいろ質問したり、されたり、と有意義な時間を過ごすことができました。このク

ラスに参加できて、よかったですと思います。
ありがとうございました。

テロントロン

生命化学科

清水 祐子

目次

1. 理由
2. インタビューの内容
 - 2-1 自分（彩菜ちゃん）の前髪について
 - 2-2 彩菜ちゃんのお姉さんについて
 - 2-3 彩菜ちゃんの弟について
 - 2-4 両親について
 - 2-5 彩菜ちゃんの性格について
 - 2-6 人を嫌いにならない！？
3. 結論
4. クラスについて

1. 理由

私がインタビューした人は、同じ生命化学科の友人の彩菜さんです。彩菜ちゃんは一見冷たそうにみえますが、話すと優しくて親身になって話を聞いてくれるので、あたたかみを感じます。

彩菜ちゃんは私と違うところがたくさんあって魅力的です。彩菜ちゃんは自分のことを呼ぶときに「自分は…」と言います。今まで私が出会ってきた女の子の中にはいなかったもので、珍しくて新鮮です。また、彩菜ちゃんの服装は個性的で自分に似合った服を選んで着ていて、料理が上手でスポーツ万能なところも憧れます。最近では、バドミントン部に入部してみたいで、「部活に行くまでは面倒だけど、行ったら行ったで楽しい。」と言っています。「最近の部活は筋トレがハードで筋肉がついて嫌だ。もともとが筋肉質だからよけいに筋肉がつきまくって嫌だ。」と言っていますが、私は、脂肪ばかりで筋肉がほとんどないので憧れます。彩菜ちゃんは『筋肉』が好きみたいで「部活の筋トレがハードだ。」と言いながらも目がキラキラしています。だから、私は『筋肉』がらみの話をしている彩菜ちゃんが好きです。音楽は幅広く聴くそうですが、マイナーな音楽が好きだったり、芸能人の中では、堺雅人が大好きなところもあって、ミーハーでおもしろいです。あと、人見知りの私とは違って、愛想がよくて、感心します。何よりも、特に嫌いな人がいないというところ

ろには尊敬しています。

また、彩菜ちゃんと普段話していると、よく彩菜ちゃんの家族の話になるのですが、その一つ一つがおもしろくて彩菜ちゃんの家族についても気になるので、インタビューでは、彩菜ちゃんの育ってきた環境や家族構成などを聞いてみて、彩菜ちゃんの魅力や彩菜ちゃん自身について考えてみたかったからです。

2. インタビューの内容

2-1 自分（彩菜ちゃん）の前髪について

祐子：何でいつも前髪を隠すの？

彩菜：とりあえず前髪はいつでも死守！チャリのときも。

祐子：何で！？

彩菜：なんでだろう・・・でも、おでこを見せたときの自分が存在してはいけないと思う。コンプレックスかな。ときどきわかる。目にささったときとか。わかる日は1日わかる。でも、前髪にも人にも気を遣う。その日は1日中鬱になる。

祐子：ニキビがあるわけでもないし、広すぎるわけでもない、狭すぎるわけでもないじゃん？

彩菜：そうなんだよね。この間、2週間にわたって人に頼まれたけど守ったよ。「見せて」に対して覚悟が必要じゃない？ってか、無理。鏡とかで自分だけ見るときもやだ。

祐子：それはいつから？

彩菜：卒業式はわけたよ。しょうがなかったんだよね・・・前髪が長かったんだよね。本当は、切るつもりだったんだけど、時間なくて。その時の自分は今見てもキモイと思う。なんでなのかは自分でもわからない。

祐子：今後、わきたい日はくるの？

彩菜：こないと思う。来るとしたら、前髪が伸びちゃったままで、部活しないといけないときぐらいかな。

彩菜ちゃんは自分のおでこにひどくコンプレックスがあるようでした。でも、私にはそれが理解できません。なぜなら、彩菜ちゃんのおでこにはニキビや傷などがあるわけではなくきれいだからです。そんなに、おでこを気なしなくてもいいのにな・・・と思いました。

2-2 彩菜ちゃんのお姉さんについて

祐子：今度はお姉ちゃんについて聞きたいなあ・・・。

彩菜：お姉ちゃんは2コ上だよ。趣味が完全に違うと思う。

祐子：例えば？

彩菜：例えば、服とか。食べ物は好き嫌いが逆なんだよね。

祐子：性格は？

彩菜：ちゃんとしている。遅刻もないし。サボったりするわけがないもん。あとは、おとなしいかな。小さいときはケンカもした。

社会人になってから、仲良くなった。それに、頼れる。しっかりしている。そういえば、大学にきてから初めて悩み相談した。一方的に喋るだけで、あつちは途中から話聞いてなかった。アドバイスなしで、的確な一言もらって、ずーん・・・ってなって。離れているから客観的。あとは、・・・基本的に私に対する扱いがひどい。うるさがる。お姉ちゃんらしいお姉ちゃん。一番上だからかな。家族のこととかは自分の方が考えてるけど。あとね、『あいぽっど』くれた♡

彩菜ちゃんのお姉さんは、優しくてしっかりした頼れるお姉さんだと感じました。私にもしお姉さんがいたら、彩菜ちゃんのお姉さんのような人がいいなと思いました。

2-3 彩菜ちゃんの弟について

祐子：弟は？

彩菜：心配。大丈夫かな。とりあえず、ひよろいし。160cmくらいで、体重39kgだし。40kgいったらメールくれる。あとは、末っ子長男だから甘やかされてる。特におじいちゃんおばあちゃんに。自分も甘くなる。部活もせず・・・でも、最近バイトを始めてくれた。やっど、バイトを始めて下さったってかんじ。普段は、一緒にゲームしたりする。どーでもいいことでメールくれたりもする。キモイ画像を。でも、かわいい。でも、やっぱり、未希の弟みて、より心配。小学生でも通るもん。中学校では女友達にかわいがられるかんじだし・・・。

彩菜ちゃんの弟は細くて驚きました。細すぎて私も心配です。でも、かわいい弟だな...と思いました。

2-4 両親について

祐子：両親については？

彩菜：お父さんとお母さんは正反対。まず、育った環境が違う。±0だよ。それに、親っ大変って思う。

祐子：どんなところが？

彩菜：やっば経済面。あとは、高校から色々なことをきちんと話してくれるから話しやすい。でも、お父さんが授業中に意味不明なメールをしてくるのはやめてほしい。原っぱにアゲハ蝶の幼虫がいたみたいで、その写メとか。それに動く写メを気に入っているらしい。目が回るけど。変だと思う。お母さんも変だよ。かなり苦労してるし。聞くとびっくりするくらい。過去が過去だから、それを乗り越えてきて、さっぱりしてる。お父さんはボンボンだったけど、お母さんは中学から住み込みでバイトとかしてたから何でもできる。複雑だとも思う。お母さんはお父さんよりも頼りがいがある(笑)。逆だと思う。結婚してよかったね♡あと、ゲームするし、マンガ

も読むよ☆普通にドラクエとか進んでる☆お母さんが珍しくお父さんに買ってもらった物とかゲームだし。夏に帰ったら、やった。よく進んだな・・・って。基本におじいちゃんおばあちゃんがいなかったら、かなりめんどくさがり屋。苦手なのは片づけ、裁縫で、得意なのは、料理。だから、裁縫はおばあちゃんとやる。お父さんと私は合わないと思う。ケンカはガチでやるし、殴り合いとかになるもん。お母さんとは言い合いはするけど、知らないうちに仲良くなる。

彩菜ちゃんはお父さんは、かわいらしいお父さんだな…と思いました。また彩菜ちゃんのお母さんは何でもできて頼りがいがあるなあ…と感じたと同時にゲームやマンガを読むお母さんは私の母とは違っておもしろいとも思いました。

2-5 彩菜ちゃんの性格について

祐子：彩菜ちゃんの性格は、家庭環境から？

彩菜：性格ね・・・私ぐらいルーズなのは家にはいない。作法とか色々言われて育った。いつの間にこんなになっちゃったんだろ・・・自由に生きてきたらこうなりました☆

祐子：自由なかんじする（笑）

彩菜：お母さんからあれしちやダメとかこれしちやダメとかは言われなかった。適当に生きてきた。やろうと決めたらやる！本当に大事なときはできないけど。適当なとき。

祐子：周りは気にしないの？

彩菜：周りを観察しつつ、自分がしてもあたりさわりがなければ・・・。んで、そろそろ戻った方がいいと思ったときは戻る。自分でもわからない。

彩菜ちゃんの性格は家庭環境や遺伝によるものではないことがわかったと同時に、彩菜ちゃんは基本的に直感で行動しているのではないかな…とも思いました。

2-6 人を嫌いにならない！？

祐子：人を嫌いにならないって本当！？

彩菜：いるけど・・・人生に3人。その人達には好きも嫌いもない。本当にどうでもいい。1人は・・・理不尽。私は何もやっていないのに、やけに私のせいにしてた。そのことを考えるのは時間の無駄。私の時間をその人の為に割いたってことになるじゃん。もう1人もそんなかんじ。そんなのが小学校のときにそういう人に出会ったから中学からはどうでもよくなった。そういう人に対しては、好き嫌いもなく、『どうでもいい』。そういう人なんだなって・・・。

このことについての彩菜ちゃんの考え方はもっともだと感じ、私もこのような考えを参考にしたいと思いました。

3. 結論

インタビューをしてわかったことは、彩菜ちゃんは自分の前髪にひどくコンプレックスを感じている。その理由は自分でもわからないそうです。

彩菜ちゃんの家族は彩菜ちゃんのお姉さん以外のお父さん、お母さん、彩菜ちゃん、そして、彩菜ちゃんの弟の全員の血液型が AB 型らしくて、お姉さん以外はそれぞれ個性的で変わってるという印象を感じました。彩菜ちゃんはそのような個性的な人がすごく身近に何人もいるから彩菜ちゃん自身も個性的になったのではないかなと思いました。あと、彩菜ちゃんは自分の直感を大切にしているのだと感じました。そして、それをもとに行動しているのではないのかなと思いました。私も直感を大切にしたいと思っているのですが、考えすぎたりしてしまったり、最終的に、自分がいま何をやりたいのかがわからなくなってしまったりすることがあるので、彩菜ちゃんを魅力的に感じるのだと思いました。また、彩菜ちゃんは、一般に私達が思っている『嫌いな人』がいなくて、そういう人に関しては好き嫌いもなくて『どうでもいい人』、『そういう人なんだ。』という考え方を持っていることがわかりました。私は、ある意味でどんな人でも受け入れるような考えを持つ彩菜ちゃんはすごいと思いましたし、憧れます。

以上のように、私が彩菜ちゃんを魅力的だと思うのは、基本的に彩菜ちゃんは私と似たところというよりも私にはない観点や考え方をもっているからだといインタビューを通して、改めて感じました。

4. クラスについて

この授業は他の授業とは違って、私は授業を通して今までやったことのない体験をすることができました。

まず一つは、留学生の友達ができただけです。今回、私は、韓国人の留学生 2 人と同じ班になりました。普段、外国人と交流する機会がない私には、日本人とは似ているようで似ていない考え方をしている 2 人と話していると、世界が広がったような感じがして、新鮮で楽しかったです。

二つ目は、友人について考えることです。私がインタビューした相手は、私の友人でしたが、友人の魅力や友人そのものについてここまで深く考えたことは初めてだったので、難しかったです。

三つ目は、友人にインタビューしたことです。友人に普段は聞けないことを改めて聞くことは、私も友人も恥ずかしかったのですが、友人の新たな一面を見ることができた気がして楽しかったです。

★MIKILINGUIDE★

工学資源学部 生命化学科

三村 彩菜

前提:興味のある人や魅力的な人を対象にインタビューを行う。

今回、自分は友人を対象にした。自分にとって魅力的なワケを少しでも解明したい。

0. 目次

1. Reasons

2. Who...

3. Interview

3-1: 悩み?

3-2: Family

3-3: Favorite

3-4: Suit♥

3-5: ケンピ会+Tomato

4. Result

5. Class

1. Reasons

インタビュー相手は、未希ちゃんです。日常よく一緒にいる友人ですが、まだまだ知らないことが沢山あります。未希とは大学の入学イベントで出会いました。そして知らない間に仲良くなっていました。びっくりです。最初に会ったときには既に仲良しだった気がします。未希と一緒にいると落ち着くし、のんびりできるけど、落ち着けなかつたりもするし、予想外のコトが起きるときもあれば、予想通りのハプニングを起こしたりなので、一緒にいると楽しくて、飽きなくて、時々癒されます。留学生との交流合宿に参加したとき、未希はたくさんの留学生と仲良しになっていました。いろんな人と仲良しになれるのは彼女の魅力の1つだと思います。

自分は人見知りをするほうで、初めから仲良くなれる人との出会いは稀です。インタビューを通して、未希の魅力を解明したいと思いました。

2. Who...

未希は、明るくて表情がかなり豊かな子です、でもちゃんと周りを気遣ったりしてくれて優しいし、困っているときとか本当に頼りになる子です。うまく言葉に表せられないけど、しっかりしている不思議な子だと思っています。彼女はよく、お菓子を配っています。留学生交流合宿でも配っていたけど、そういえば日常でもお菓子を配っています。カラオケに行くと、踊ってくれます。カラオケに行かなくても踊っている時があります。他にも、不思議な特技があったりするので、見ているだけで楽しいです。こういうところが、接しやすい理由なのかなあとも思います。

3. Interview

Date: 12月11日(木) Place: MINE 前 Time: 13時50分～

《み→みき あ→あさみ(友情出演) 自→自分(みむらあやな)》

今回は、あさみちゃんにも手伝ってもらいました。

3-1: 悩み?

あ: バイト少ないコト?

み: あさみが思ったのと違うことかと思ったあ

み: お好み焼きバイトで髪とか服とかバックとかが臭くなるコト

み: あと...日本語がわかりません。

み: あ!! 最近の悩み、1年に何個買ったかわからない教科書ケース

自: 確かに壊れ過ぎだよ

3-2: Family

み: 弟わあたしより地位がたかい、大人っぽい、けど気持ち悪い...かな

自: 気持ち悪くないしッ

自: 家族構成は??母父弟そしてあたし。

それから....逃亡した犬。

自: 逃亡したの??

み: チッチャいとくに預かった犬お父さんが手はなしちゃったんだもん

自: 結局犬 どうなった?

み: 犬? いねえよ。

自: わかるよッ!!

み: でもひどいコトしてたなあ...生肉とかあげてたもん。

お母さんが肉食べてないからかわいそうだあとか言って....

自: お母さん....

あ：みきのお母さんも踊るの??

み：なんかアルヴェで踊ってるよ★+”

3-3: Favorite

み：好きなタイプわ現水戸黄門の格さん

あ：格さんのどんなとこ好きか言ってあげて

み：え～・・・どんなとこが好きかよく伝えられないもどかしさ。

あ：格さんの格好をした格さんがいいの??

み：格さんの格好をした格さんが好きです

自：俳優さんってこと??

み：ん～、格さんをやってる格さんがいいの

3-4: Suit♥

み：スーツ...は素晴らしいですね!!

ピシッと見えて格好良さ倍増って感じですねッ

でも、なんかピシッとなった感じもいいんだけど....

ネクタイを緩めたときのゆる～い感じがたまらないですね-(笑)

でもスーツもいいんだけど...スーツの上着を脱いだときの

＼シャツもいいよね・・・なんか白もいいけどカラーだったり

線入ってたりするのがやっぱ、うわあーってなる・・・

自：シャツは何色がいいの?

み：青とかピンクとか、とにかく色が付いてるとやばいッ!!(笑)

3-5: ケンピ会+Tomato

自：さつまいもについて語ってください。

み：大学になってから流行り始めました。

自：1番好きなさつまいものお菓子は?

み：やっぱりケンピ。

でも、冬になるとケンピ→干し芋にかわる。

自：まじ、さつまいも素敵だよね。

み：ステキだよ。

当たり前じゃん。

自：さつまいも以外に好きなものは?

み：高校のときのブームは、さつまいもじゃなくて唐揚げ。

自：ってかさ、嫌いなものあるの??

み：トマトジュース。絶対飲めない。

自：トマトジュース... でも、祐子ちゃんのおかげ？で普通トマトは食べれるよーになったよね★おめでとー

み：うん、なった。

でもね、ほんとちっちゃい時は とまと めっちゃ好きで、お母さんの目を盗んで勝手に冷蔵庫開けて口のまわり真っ赤にしながらトマト食べてたらしいよ。

— END —

4. Result

インタビューしてみて気がついたことは、未希と話していると予想外の返答が返ってくるということです。なので、会話していて楽しいです。それに、すごい表情豊かなので、感情が相手に伝わりやすいのかもと感じます。彼女の接しやすさは、家族.... 特にお母さん由来かなあとも思いました。表情豊かだけど、感情表現が激しいということはなく、ちゃんと周りを気にかけているので偉いなと思いました。自分は表情豊かでもないし、いろいろ冷たい人間だと思うので、表情の豊かさや一緒にいて癒されることなど、彼女が持つ自分にはない部分、自分とは反対の部分に、より魅力を感じているのかなと思いました。今回インタビューしたことで、改めて聞かなきやわからなかったこととかを知れたのでよかったです。

5. Class

日本事情の授業を受けて、いろんな国の留学生と交流できたことはとてもいい経験になりました。今まで自分が思っていた諸外国に対する偏見を直すこともでき、よかったと思います。例えば、韓国の方は感情表現がすごく激しい人が多いのかなあと思っていたけれど、そんなことは全然なかったです。実際に話したり、国のことを聞いたりして、自分が相手の国のコトはもちろん、自国についてもほとんど何も知っていないと気が付きました。今後は、自国や外国についてもっと興味や知識を持とうと思いました。

授業外でも、韓国人の友達に韓国料理をごちそうになったり、留学生交流合宿に参加したり、パプアニューギニアの人と道端会話したり？、たくさん外国の人達と接することができました。新しい人との出会だけでなく、友達の新たな発見を知れたのでよかったです。どれも...？、この授業を受講したから得られた経験であるので、受講してよかったですなあと思いました。